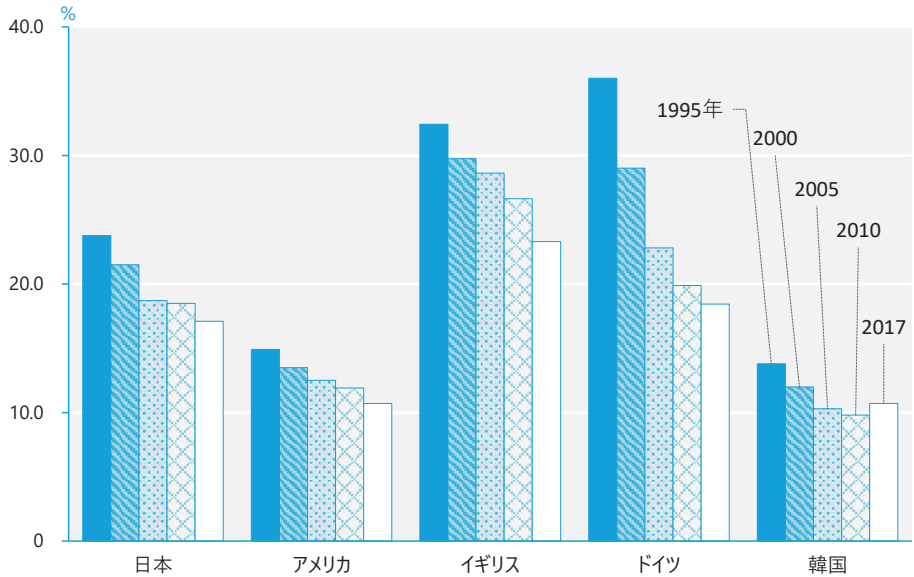


7-1 労働組合組織率の推移



[関連表](#) p.265 「第7-1表 労働組員数・組織率(各国公式統計)」

(注) ドイツの最新は2016年。

主要国の労働組合組織率の変化をみると、ほとんどの国で過去20年余りにわたって低下傾向にある。相対的に組織率の高い国ほど、急速な低下を経験しており、例えばイギリスでは、1995年の32.4%から2017年には23.2%と9.2ポイント低下、またわが国でも、同じ期間に23.8%から17.1%へと6.7ポイント低下している。さらにドイツでは、1995年から2016年までに組織率がほぼ半減(17.6ポイント低下)して18.4%となっている。

なお、韓国ではここ数年、他の各国とは対照的に、組織率が上昇に転じている。これは、労働組員数の増加率が就業者数のそれを上回っていることによる。